

会 議 録

1 会議名

平成28年度第4回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- 協議事項 (1) 地域活動支援事業追加募集の提案団体へのヒアリング及び審査・決定について（公開）
- (2) 集落カルテの作成結果について（公開）
- (3) 連絡事項（公開）

3 開催日時

平成28年7月11日（月）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）の氏名（敬称略）

- ・委員：飯田秀治、折笠弘志、金井貞子、佐藤祐子、清水薫、中川よしえ、西山新平、前山美智弘、丸山 進、渡辺喜一
- ・事務局：牧区総合事務所 高橋所長、橋詰次長、金井市民生活・福祉グループ長、宮腰班長、山田班長、綿貫班長

8 発言の内容（要旨）

【橋詰次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【丸山 進会長】

あいさつ

【高橋所長】

あいさつ

【丸山 進会長】

- ・会議録の確認 金井貞子委員に依頼する。
- ・協議事項（１）地域活動支援事業追加募集の提案団体へのヒアリング及び審査・決定について、事務局に説明を求める。

【綿貫班長】

別紙資料により説明

【丸山 進会長】

質疑を求める。

【丸山 進会長】

これよりヒアリングを開始することとし、地域活動支援事業提案者の入室を求める。

【丸山 進会長】

提案者に対し、提案説明と委員からの質問を含めて20分を予定しているので、説明及び回答は簡潔にすること、また、二次募集では3件の提案があり、交付希望額が配分額の残額を超えているため、提案どおりの補助金額とならない場合があることを説明する。（以下、提案者全員に上記内容について、丸山進会長が説明した後に、提案者の説明を受ける）

【丸山 進会長】

事業No.17の提案者に説明を求める。

【提案者1】

事業No.17「牧愛好会活動活性化事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【清水 薫委員】

他地区から牧区にいられて入会されたとのことだが、活動を通じて得られたことはあるか。

【提案者1】

転入当時は友達ができるか、馴染めるかなど不安があったが、子どもを通じて入会したことにより、悩みを相談し合える仲間ができた。子どもたちが成長した現在、もし活動していなければ、仲間と触れ合う時間もなかつたろうと思う。バレーボールはチームワークで行うもの。大切な絆をつないでいただき、心強くありがたいと思っている。

【飯田 秀治委員】

合併後、スポーツ人口は減っている。地域活動支援事業に毎年申請している団体もある中、これまでに提案する考えはなかったのか。

【提案者1】

J C V杯の県大会出場を機にユニフォームを新調することになっていたが、二次募集を知って提案することとした。

【前山 美智弘委員】

ユニフォームはこんなに安いものなのか。

【提案者1】

もっと高額な物もある。安いユニフォームであっても、ゼッケンと牧愛好会という名前を付けてコートに立つことによって、自分たちや牧をアピールできる、大会に臨む姿勢である。

【前山 美智弘委員】

決算書に体育館使用料48,000円を計上しているが、会員が2,000円ずつ負担しているのか。であれば、安いユニフォームは個人で買い、公の会場費を減免するような提案としてはどうか。

【提案者1】

決算書は平成27年度のものであり、今年度は減免申請することで、使用料は少し安くなっている。

【前山 美智弘委員】

年間の会場費を軽減することを考えれば、会員の負担も減るのではないか。

【橋詰次長】

今年度の体育館使用料は50%減免になっている。

【前山 美智弘委員】

安いユニフォームを買うくらいであれば、使用料減免やスポンサー、寄付金など、会員の負担を軽減した方が、よい活動ができるのではないかと提案をする。

【丸山 進会長】

15着を購入する計画だが、仮に事業が採択となり、10着分の補助金しかもらえないとしても購入するか。

【提案者1】

不足分はみんなで負担する。

【佐藤 祐子委員】

県大会へ行くという自分たちの名誉・夢・自立心を、ユニフォームに牧愛好会として出したいという気持ちは痛いほどわかる。普段のドリンク代や体育館の使用料を押しなべて、自分たちの活動費として出すが、県大会には自信を持ち、皆さんの応援を背に受けて行きたいという努力はよくわかる。ぜひ激励したい。

【中川 よしえ委員】

ぜひ頑張ってもらいたい。

【丸山 進会長】

ほかに質問を求めるがなかったので、事業No. 17については終了する。

【丸山 進会長】

事業No. 18の提案者に説明を求める。

【提案者2】

事業No. 18「牧フレッシュガールズ 夢☆感動事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【丸山 進会長】

牧区のメンバーだけでは人数不足とのことから、谷浜地区のチームと合同で練習されているとのことだが、遠隔地のチームと連携した練習における苦勞などはあるか。また、他地域との交流について感じたことをお聞かせ願いたい。

【提案者2】

当初は通うことが大変だと思ったが、4年を経て距離的に遠いと感じることはない。大人数で練習できることが幸せである。週に1回の合同練習しかできないが、子どもたちは限られた時間の中で、集中して練習している。地域との交流もさせていただいており、牧区のイベントに谷浜の皆さんも来てくださることから、牧区のPRもできているのではないかと思います。

【飯田 秀治委員】

子どもやスポーツ人口は減っている。以前もネットや支柱を購入した経緯があるのではないか。仮に今回採択されなかったとしたら、スポーツ団体に対する別の助成制度はないのか。

【前山 美智弘委員】

決算書に牧振興会からの補助金の記載がある。どのような内容か。小学生の体育館使

用料は減免されるのか。

【提案者2】

牧振興会の青少年育成部会に所属しているため、活動補助として年間3万円の補助金をいただいている。

【橋詰次長】

体育館使用料は100%減免である。

【清水 薫委員】

保険会社が青少年育成のため、上越市の全ての種目に対し補助金を出している。以前、この補助金で支柱を購入したが、現在の規格に合わず使うことができないため、第二体育館の用具としている。それ以外の助成はない。

【丸山 進会長】

ほかに質問を求めるがなかったので、事業No.18については終了する。

【丸山 進会長】

事業No.19の提案者に説明を求める。

【提案者3】

事業No.19「地域の交通安全対策事業」について、提案書により説明。

【丸山 進会長】

委員から質問を求める。

【丸山 進会長】

購入数は50組で按分すれば10組ずつとなるが、双方で必要な場合貸し借りは可能か。

【提案者3】

各5地区に10組ずつ分配し、要望があれば、お互いに融通し合うことで考えている。

【西山委員】

セーフティベストには文字を入れるなどするのか

【提案者3】

帯状の反射板のついた軽微な物だが、発光する物を購入する。夜の活動には優れている。

【丸山 進会長】

これからの時期は、各地区で盆踊りなど開催されるが、借りることはできるのか。

【提案者3】

町内会から要望があれば貸出しする。

【丸山 進会長】

これをもってヒアリングを終了し、事務局で集計次第、再開とする。

(事務局にて審査結果を集計)

【丸山 進会長】

ヒアリングの審査結果を事務局に報告を求める。

【綿貫班長】

二次募集についてヒアリングを行い、11人の委員による採点の結果、提案された全3事業が採択された。補助金希望額の総額が18万9千円を上回ったことから、牧区における採択方針に則り、5項目の共通審査の採点による傾斜配分とした。さらに同率により減額し、牧愛好会活動活性化事業46,000円、牧フレッシュガールズ夢☆感動事業40,000円、地域の交通安全対策事業103,000円、合計189,000円となり、二次募集金額に達したことを報告する。

【丸山 進会長】

他に質疑を求める。

【丸山 進会長】

委員に意見を求めるが意見なし。

追加募集に提案された全3件の事業について採択し、補助金額については採択基準による傾斜配分により、総額189,000円とすることで決定する。

【丸山 進会長】

協議事項(2)集落カルテの作成結果について、事務局に説明を求める。

【山田班長】

資料により説明する。

【丸山 進会長】

今後、自主的審議事項に力を入れていくための、参考データとして示していただいた。牧区の現状、問題点、地域住民の要望など、どのように取り組んでいくのか、委員が各自、項目をまとめてきていただきたい。なお、本日の予定では、地域活動支援事業の採択方針について検討することとしていたが、予定時間が経過しているため先に送ることとする。

次年度に向けて検討する時間が十分あるが、あまり先送りしないように機会を設けるので、個々に考えをまとめて、中身の濃い検討をしていただきたい。

【丸山 進会長】

他に質疑を求める。

【前山 美智弘委員】

調査結果によると、集落維持の見通しについては、当分の間は維持が可能だが、その後は困難との回答が圧倒的に多い。5年、10年はあっという間に過ぎてしまうだろう。そうやってきたときに、行政が考えているプランがあれば教えてほしい。

【高橋所長】

具体的なプランは持ち合わせてはいない。自身も結果を見て驚いている。今回、地域活動支援事業で、原地区集落ネットワーク圏活性化プラン作成事業が採択された。これ

が今後の指針になってくれればよいと思っているし、このような地域の取組に支援をしていきたいと考えている。

【前山 美智弘委員】

この会議でマスタープランの策定が必要と判断した場合、それを協議することはできるのか。

【高橋所長】

皆さんの合意で、牧区全体のプランを作り上げようという考えも、方策の一つとなるのではないかと。

【丸山 進会長】

我々委員がどのような方向付けで進むのか、原地区の取組を参考にできればよいと思う。

【丸山 進会長】

その他（3）連絡事項について事務局から説明を求める。

【橋詰次長】

「深山荘の指定管理制度移行後の実績比較について」
資料により説明する。

【綿貫班長】

- ・「平成28年度春期地区懇談会実績について」
資料により説明する。
- ・「上越市地域協議会委員活動へのご協力等について」
資料により説明する。

【丸山 進会長】

委員に質問等を求めるが無く、（3）「連絡事項」について了承する。
その他、委員からの意見等を求めるが無く、会議の閉会を宣言する。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。